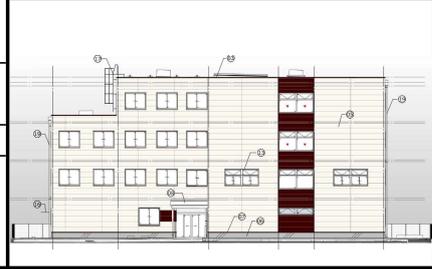


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)石塚栄財産業株式会社様 介護施設新築計画	階数	地上4F
建設地	埼玉県越谷市	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域、法22条区域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年9月26日
敷地面積	1,550㎡	作成者	大和ハウス工業(株) 西野泰秀
建築面積	721㎡	確認日	2023年9月26日
延床面積	2,775㎡	確認者	大和ハウス工業(株) 西野泰秀



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	77%
③上記+②以外の	77%
④上記+	77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.6**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.7**

音環境	2.3
温熱環境	2.0
光・視環境	2.7
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

機能性	2.9
耐用性	3.1
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 2.2**

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 4.0**

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.2**

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.3**

地球温暖化	3.9
地域環境	2.9
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	街並みに対する配慮として、建物を敷地奥側に配置し、前面を緑地・駐車場とすることで高さによる威圧感を和らげ、空間のゆとりを創出している。また道路側に緑地を設けることで、道行く人も緑を感じられる計画としている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境に配慮している。	補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	-
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。	自動水栓や、播音装置などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。	ライフサイクルCO2排出率を77%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)石塚栄財産株式会社様 介護施設新築計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境							0.40		-	2.7
1 音環境						2.3	0.15	2.2	1.00	2.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音						2.4	0.40	2.2	0.40	
1 開口部遮音性能						3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						2.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		居室Lr-50					-	4.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						2.0	0.35	2.0	1.00	2.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境						2.5	0.25	3.0	1.00	2.7
3.1 昼光利用						3.6	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		共用部分:2.0~2.5%、居室:1.25%以上				4.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口							-		-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						1.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.9	0.25	3.7	1.00	3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上					-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視							-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙としている				5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.9
1 機能性						2.4	0.40	3.8	1.00	2.9
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		全個室10㎡以上					-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観							-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30		-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		天井:ビニルクロス:30年、壁:ビニルクロス:20年、床:塩ビシート:20年				5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:ポリエチレン管:B、給湯:ポリエチレン管:B、汚水、雑排水:塩ビ:B、冷媒:銅:C、Eは不使用				5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.1	0.30	2.6	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			2.8	0.30	2.2	0.50	
1	階高のゆとり		2.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部分壁長さ比率:0.1~0.3、居室壁長さ比率:0.1~0.3	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	EPS、E管(保護管)により、構造部材・仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	EPS、PF管(保護管)により、構造部材・仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPlm=0.77	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.72	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器に加えて、節水コマ、自動水栓等を主要水栓の過半に使用し、擬音装置を用いている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		スタイロフォーム:床下断熱材	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+LGS+仕上材のため容易に分別可能、配管・配線が躯体及び仕上材自体に打ち込まれていない	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、周辺道路の渋滞緩和の為出入口位置に配慮	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たし、「広告物照明の扱い」の配慮事項の過半を満たしている	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

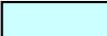
建物名称	(仮称)石塚栄財産業株式会社様	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	-----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.9	+	2.0	=	5.9 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
ライフサイクルCO2排出率77%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

 :入力欄